

長畑ひろのり



News vol. 163

2月定例議会における質問③

・可燃ごみ収集について

【長畑質問】可燃ごみ収集の方法は。

【市民生活部長答弁】戸別での収集を原則としているが、道路規制や道路幅員等の状況によりごみ収集車の通行が困難な場所では、いくつかの世帯で1箇所のごみ集積所に持ち出され、そこから車両に積み込むステーション収集により対応。

【長畑質問】戸別収集の原則を守るために努力した内容は。

【市民生活部長答弁】要介護認定を受けているなど、一定の理由によりごみの持ち出しが困難となっている方を対象に、令和3年4月から自宅前で収集を行う「ふれあい収集」を開始。

【長畑質問】ごみ収集車の通行が困難な場所にある世帯数は。

【市民生活部長答弁】いわゆるステーション収集の世帯数は、およそ3,000から4,000世帯。

【長畑質問】ふれあい収集の事業趣旨と事業対象者は。

【市民生活部長答弁】趣旨は、ごみの排出場所が集積所、ステーションとなっている人で、要支援認定を受けているなど一定の理由によりごみの排出が困難となっている人のため、自宅前での収集支援を行う。

対象者は、一人暮らし世帯で要介護度2以上かつホームヘルプサービスを受けている方、身体障がい1級または2級の方、精神障がい1級の方、療育手帳Aかつホームヘルプサービスを受けている方、市長が特別に支援を必要と認める方。

【長畑質問】仮に、ごみ収集車が入って来られない場所に住まわれ、集積所にごみを出せない一人暮らし世帯ではない方に対しては、どういう対応を取られているのか。

【市民生活部長答弁】集積所の管理運営方法は、ステーションを利用される方々が話し合いにて解決するものとする。

【長畑質問】そうすると、例えば同居されている方が会社へ行く、もしくは、学校へ行く前に集積所へごみを出す、それだけで良いとはならないのか。

【市民生活部長答弁】利用される方が話し合いにて解決する。

【長畑質問】地域の方に任せるのは、市として市民サービスを等しくとの趣旨から外れるのではないのか。

【市民生活部長答弁】地域、集積されている方々がそれぞれ独自に色々なルール作りをされており、基本的には利用されている方々で話をして頂ければと考えている。

【長畑質問】ふれあい収集の対象者は「一人暮らし」が前提だが、その対象者に入れずに多くの問題を抱えられている方もおられる。個人情報やプライバシーを行政が守っていかなければならない立場でありながら、地域に全て放り投げてしまうのは問題だと考える。ふれあい収集の対象者から「一人暮らし」の箇所を外すだけで、多くの方がごみの排出に係る市民サービスを等しく受けられると思うが、それは無理か。

【市民生活部長答弁】参考にさせてもらいたい。

【長畑質問】ふれあい収集もプライバシーとか、色々な問題が今後も出てくると思う。利用したくても利用できない方とか、近所の方に知られたくない等を考えると、ふれあい収集に加えて狭隘な場所にも入れる軽自動車サイズのごみ収集車を導入するしかないと思うが。

【市民生活部長答弁】過去において検討した経緯はあるが、費用面等のこともあり結果的には導入できなかった。

【長畑要望】ふれあい収集実施要綱の事業趣旨は、次の通り。

ごみの排出が困難な人への収集支援を行うことで、ごみの排出に係る市民サービスを等しく受けられるようにし、市の衛生環境保全に寄与する。また、個別対応となるため、住民の安否確認が可能となり、見守り事業の側面も含む。

すばらしい趣旨。ごみの排出に係る市民サービスを等しく受けられるようにする、このことは守って頂きたい。そのためにも、ふれあい収集の対象者から一人暮らし世帯を外して頂きたいと要望する。

そして、もっと広域に市民サービスを等しく受けられるためにも、ある程度の予算が必要なのは理解するが、軽自動車サイズのごみ収集車の導入を要望し、少しでもステーション収集の世帯数が減ることを願う。



本年度の議会における役職

令和4年度、私の所属と役職は以下のように決まりました。私の日頃の活動を知って頂きたく、内容を少し説明します。

※ 内は構成メンバー。

● 四條畷市議会（議員定数12名）

地方自治法 第109条 ② **常任委員会**は、その部門に属する当該普通地方公共団体の事務に関する調査を行い、議案、請願等を審査する。④ **特別委員会**は、議会の議決により付議された特定の事件を審査する。

・総務建設常任委員会：委員長

所管するのは、総合政策部、総務部、財務部、市民生活部、都市整備部、田原支所、会計課、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、農業委員会及び固定資産評価審査委員会の所管に属する事務並びに他の常任委員会の所管に属さない事務。

議長を除く議員6名（教育福祉常任委員会も同様）

・予算決算常任委員会：委員

所管するのは、一般会計、特別会計及び下水道事業会計の予算及び決算に関する事項。

議長、監査委員を除く議員10名

・議決すべき計画に関する特別委員会：委員

本年度取り上げる計画は「四條畷市DX推進計画及び四條畷市個別施設計画【公共施設】に係る調査研究」の2点。

議長を除く議員11名

・議会だより編集委員会：委員

四條畷市議会だよりの編集を行う委員会。

正副議長が正副委員長となり、各会派から1名の計6名

● 四條畷市

・四條畷市都市計画審議会：委員

市が都市計画を定めるときに、都市計画法に基づき都市計画案を調査審議する機関。

一般市民2名、学識経験を有する者8名、市議会議員5名の計15名

● 一部事務組合など

・東部大阪治水対策促進議会協議会：監事

豪雨による河川の氾濫や急傾斜地の崩壊などの土砂災害から、9市が共同して市民の生命や財産を守るために設立された協議会。主な活動は、国や大阪府への陳情、治水をテーマとしての研修、治水事業の視察。

東大阪市の議員5名、以下、柏原市、門真市、大東市、寝屋川市、八尾市、守口市、交野市、四條畷市の8市議会より議員各3名の計29名

・くすのき広域連合議会：議長

3市が介護保険事務を広域連合で共同処理するために設立。その広域連合議会において、昨年度に引き続き議長。平成27年度にも議長を経験。

令和6年3月31日に広域連合の解散が決まっており、その後は各市が単独で介護保険事業を行う。

守口市の議員7名、門真市の議員6名、四條畷市の議員4名の計17名

・北河内4市リサイクル施設組合理事会：幹事

平成12年4月に「容器包装リサイクル法」が完全施行され、家庭系ごみの中の容積比で約4割を占めるプラスチック製の容器類の分別収集への対応が市町村に求められた。そのことに対応するため、3市が共同してプラスチック製容器類の中間処理を行うために設立。

枚方市の議員5名、寝屋川市の議員4名、交野市の議員2名、四條畷市の議員2名の計13名

ネットで情報を発信

この市政報告、
コロナ感染者の多

い時は隔月もありましたが、毎月発行しています。それだけでは本市のことを伝えきれないため、ネットで過去の市政報告を含め多くの記事を掲載しています。その中から、今も質問されることの多い2点を紹介します。

興味のある方は、下記QRコードからアクセスして読んで下さい。

ひろのり物語 ④



四條畷駅の駅名

「条」が「條」に変更されない理由



四條畷市の市名

「條」と「条」が混在する理由

